



上松永林議員

◇基幹産業、農業の振興について

【質問】農家人口の減少、高齢者の増加、耕地面積や販売農家戸数の減少など、地域の農業に活気が見られない。農業の振興には地産地消と農産物のブランド化が必要。空き店舗を使って地元産の食材を使ったレストランはどうか。また、ブランド化についての所見は。

【市長】ブランド化には相当の困難がある。飯山のアスパラやブナシメジなどのキノコ類は全国的にそれなりの評価を得ている。

【部長】地産地消やブランド化は大事なこと。レストランや加工所はまちづくりにとつても必要なので、創業に対する支援金制度を活用して取り組んでいく。

◇入札と剰余金について

【質問】落札額が、予定価格よりかなり下回っている



板橋区大山商店街での販売

ようだが入札の実態は。市内業者が受注できるようにすべきでは。剰余金を景気対策など政策的に必要な他の事業に使っては。

【市長】入札差金を他に流用するのは、行政の会計処理としては簡単にはできない。

【副市長】財務規則で工事請負契約は100万円以上は競争入札。備品購入等では70万円を境に随意契約と競争入札に別れる。現在の経済状態を考慮し、市内業者を多く指名するよう取り組んでいる。

【部長】20年度、工事関係で市内業者が落札した額は63・71%、随意契約では63・09%。市外業者が入った場合は市内業者の落札率は非常に低くなっている。

◇地域商店街活性化法について

【質問】商店街を地域コミュニティの担い手と位置付けた地域商店街活性化法が施行される。この法を活用し、市民、商店、市職員が一丸となつて街づくりを進めては。

【部長】商店街振興組合等が計画をつくり、国が認定するといろいろな支援策がある。具体的なのが公表され次第、市も、事業主体となる商店街の皆さんとともに、どんな活動ができるか検討していきたい。



水野英夫議員

◇出合いの場創出事業について

【質問】地域の活力を取り戻し、明るい未来を築くためには是非とも成果を上げて欲しいと思うが今後の取り組みはどうするのか。

【市長】今市内には約2000人の独身の男女がいる。出合いの場くらいは



出合いの場創出事業 アスパラ収穫の様子

行政で提供したい。今回は初めてなので、森の家にやらせているが、反省をしながら次の方向を見つけていきたい。また「さわごさ」にも期待している。今のところ、地元の男性の参加者が少ないのが気になるが、皆さんの協力もお願いしたい。

◇入札制度について

【質問】工事関係の最低落札価格の導入については、長野市や須坂市、また中野市もこれから導入するとのことだが、飯山市についてはどのように考えているのか。総合福祉センターの解体では50%を切っているとのこと。雪国の特殊性、働く人の生活を守る意味から一刻も早い導入を望むかどうか。



小林初子議員

◇経済危機対策臨時交付金の取り組みは

【質問】飯山市関係の臨時交付金は、2億4300万円と聞いているがどのような施策に取り組まれるのか。又、公立小・中学校等のICTの環境の整備推進については、本年度のみということで国庫補助2分の1、交付金2分の1、地方負担分無しで地デジテレビやコンピュターの整備等が可能であるが、またとないチャンスである。導入のしてはどうか。

【部長】現在詰めているところで7月の臨時議会です算計上する。

【教育長】小学校の教育用コンピュターの整備と教職員の校務用コンピュターの整備を中心に考えている。

◇ごみ減量計画の推進について

◇飯山ふるさと検定について

【質問】ごみ問題は一方的に情報を発信するだけでは限界があり、住民同士のコミュニケーションが大切ではないかと考える。ある地区公民館では生ごみダンボールコンポストの講習会後に参加者からの問い合わせを受けて、「コンポスト通信」を作り地域へ情報発信している。市民がそこに行けばいつでも情報が得られる拠点があればもつとごみ減量の取り組みも進むのではないかと、特に市街地に必要ではないか、市の計画では21年度は拠点整備の実施とあるが進捗状況はどうか。

【部長】当面はハード面より、まず市民がごみ減量に関わっていただくという仕組み作りを進めていく。

【質問】5年後に新幹線開業を控え、住んでいる私たちが飯山をより知ること誇りを持ち、来訪者におもてなしの心で接することができるよう多くの市民の皆さんに検定を受けていただける態勢づくりが必要ではないか。

【教育長】楽しく参加して



長野県飯山市 総合学習センター



坂原シモ議員

◇消費者問題対策事業について

【質問】消費者を取り巻くトラブルが多発している。市民がどの窓口相談したらいのか、解りやすく表示をし、被害防止対策を考えていただきたい。

【市長】先ず看板を設置し、被害防止のための啓発ステッカーを作成し全戸配布、情報事例のデータベ

ス化等を計画し、被害防止策では、相談のみでなく被害を未然に防止するため、相談事例の紹介・窓口の広報周知活動に取り組みたい。

◇青色防犯パトロール車の運用について

【質問】現在10台の公用車を青パトとして登録し、防犯パトロールが実施されている。子供達の安全のために、学校任せだけでなく地域も連携した安全対策を考えていただきたい。

【教育長】青パトは誰でも運転が出来ないので、当面は教育委員会と学校関係者による現在の方式を継続して行く予定だが、子供の安全は地域全体で取り組むべきと考える。今後、各団体との連携を密にしていきたい。



青色防犯パトロール車出発式

◇新型インフルエンザ対策について

【副市長】市としても議員の言うとおり、当市の特殊性を考え対応していると思っている。

飯山市以外の市はほとんど一般競争入札を導入しているが、当市は指名競争入札にしている。最低落札価格率の導入については、全体の入札方式と合わせて検討していきたい。

◇中学統合に伴う通学手段について

【質問】いよいよ来年4月より新たな中学校がスタートするが、通学方針について各地域で不公平感のない様、確認の意味も含めて何点かお聞きしたい。

【教育委員長】原則は徒歩通学であるが、3キロ以上は自転車を利用し、5キロ以上はスクールバス又は公共交通を利用する。クラブ活動等も大事であるので、スクールバスを2便出すなど、不公平にならないよう柔軟に対応していきたい。また、細かな諸問題については、発生した段階で真摯に対応していきたいと思っている。

【質問】警戒水準が「6」に宣言され世界的な大流行が懸念されている。県内でも感染者が確認され、今後第二波の流行が心配されている。庁内には対策本部が設置されているが、市民向けの予防対策、備蓄品についての指導が必要ではないか。

【部長】第二波に備えて市民向けの情報提供や予防対策は、市報7月号からお知らせする。市ホームページ・テレビ飯山・防災無線で広報する。一人でも多くの市民に予防や流行時の対処法など正しい知識を得られるように、夏場に地区や団体に学習会を呼びかける。

◇地上デジタル放送への移行について

【質問】2011年アナログ放送から地上デジタル放送に全面移行することについて、市民への解りやすい説明を。

【部長】国の動きを見ながらの部分もあり、詳細が決定次第、市民の皆さんにお知らせしていく。